

『日本十進分類法新訂 10 版』の検討 その(23)

—積み残された課題 8—

A Critique of the Nippon Decimal Classification, 10th Edition Pt.23

- Challenges that Remain: VIII -

前川由実子[†]、北 克一^{††}

MAEKAWA Yumiko, KITA Katsuichi

抄録：日本図書館協会分類委員会により、『日本十進分類法新訂 10 版』が 2014 年 12 月発行された。1995 年 8 月の『日本十進分類法新訂 9 版』の刊行以降、概ね 20 年ぶりの日本十進分類法の改訂である。

今後の日本図書館界の主題組織化を担う『日本十進分類法新訂 10 版』のうち、本稿では、細目表中の分類項目名、英文項目名、及び、その関連索引に収録時の索引語について、検討を進める。

キーワード：日本十進分類法新訂10版、NDC、分類項目名、英文項目名、関連索引

Keywords：Nippon Decimal Classification 10th Edition, NDC, Japanese Classification Item, English Classification Item, Relative Index

1. はじめに

2014 年 12 月に『日本十進分類法新訂 10 版』(以下、『NDC10』、以下、他版も同様)が刊行された¹。1995 年 8 月刊行の『NDC9』以来、概ね 20 年ぶりの改訂である。今後の日本図書館界の主題組織化を担う『NDC10』について、検討を進めたい。

本稿では細目表中の分類項目名、英文項目名、及び、その関連索引に収録時の索引語について、検討を進める。

なお、『NDC10』の改訂方針に従い、「①NDC の根幹に関わる体系の変更はしない」範囲での検討である²。

また、本稿で底本として使用したのは、2019 年 3 月 8 日発行の第 6 刷である。

2. 関連索引の位置づけ

最初に、関連索引の位置づけを確認することから、始めたい。

『NDC10』の「序説」では関連索引を次のように解説している³。

細目表が分類項目を分類記号順に配列しているのに対し、関連索引は分類項目名等を索引語として五十音順およびアルファベット順に配列し、それに対応する分類記号を明示した一覧表である。(中略)観点分類法における主題の相対的關係に留意した索引の意味で、関連索引(Relative index)と呼ぶ。

また、「用語解説」では、関連索引について次の解説がある⁴。

分類項目名等を索引語として五十音順およびアルファベット順に配列し、それに対応する分類記号を明示した一覧表である。(中略)観点分類法における主題の相対的關係に留意した索引の意味で、関連索引と呼ぶ。

前川由実子[†] 関西大学等

北 克一^{††} 大阪市立大学

このように、相関索引については、「序説」と「用語解説」共に概ね同一の説明である。

一方、相関索引の凡例中の「3.2 配列」では、次の記述がある⁵。

配列は、ヨミの五十音、アルファベット、アラビア数字の字順配列とする。

また、相関索引の凡例中の「3.1 ヨミ」では、次の記述がある

また、アラビア数字およびアルファベットはそのままヨミとする⁶。

例) ICU 看護 ICU カンゴ
4H クラブ 4H クラブ

相関索引は、「2 相関索引・使用法編」の p.11~261 であり、分量的に同冊子の大部分を占めている。先頭の索引語は、「あい(作物栽培) 617.8」であり、最後の索引語は、「4H クラブ 611.97」である。

なお、アルファベット、アラビア数字の索引語は、「相関索引・使用法編」の p.259~261 である。

先頭の索引語は、「AE コンクリート 511.72」であり、最後の索引語は、「4H クラブ 611.97」である。索引語の数は、136 語彙である⁷。

実感としては、いかにも少ない。そこで、細目表中の「英文項目名等」⁸に着目して、相関索引のアルファベット、アラビア数字の索引語を追加する場合の問題点を中心に検討した。

2. 細目表中の英文項目名等

細目表の凡例で、細目表中の英文項目名等について、次のように述べている。

1.4 英文項目名等

以下の分類項目には、英語または原綴等を付記した。

- 1) 類・綱・目の分類項目
例) 図書. 書誌学 Books. Bibliography
- 2) 2 類における外国地名

例) カナダ Canada

3) 外国人名

原則として米国議会図書館が頒布する MARC21 の標目形に準拠した。

例) ロック Locke, John, 1632-1704

4) 動・植物の科目名

学名を付記した。

例) 無脊椎動物 Invertebrata

5) 8 類における言語名

例) スウェーデン語 Swedish

本稿では、上記の 5 項目の内、「1) 類・綱・目の分類項目」を対象として考察する。

3. 分類項目名、及び、英文項目名

類・綱・目の分類項目の英文項目名を検討するにあたり、類の単位で検討を進める。今回は 0 類総記~1 類 哲学までを素材とする。

3.1 0 類 総記

0 類 総記について考察を進める。以下は、細目表の 0 類から、英文項目名が付されている項目を抜き出したものである。ただし、インデクション等は再現していない。

- 000 総記 General works
- 002 知識. 学問. 学術 Knowledge. Learning
- 007 情報学. 情報科学 Information science.
Informatics
- 010 図書館. 図書館情報学 Libraries.
Library and information sciences
- 011 図書館政策. 図書館行財政 Library
policy and administration
- 012 図書館建築. 図書館設備 Library
buildings
- 013 図書館経営・管理 Library management
- 014 情報資源の収集・組織化・保存
Technical processes in libraries
- 015 図書館サービス. 図書館活動
Library activities
- 016 各種の図書館 Specific kinds of
institutions
- 017 学校図書館 School libraries

- | | |
|---|---|
| 018 専門図書館 Special libraries | organizations |
| 019 読書. 読書法 Reading of books. Book review | 065 親睦団体. その他団体 Service clubs and other societies |
| 020 図書. 書誌学 Books. Bibliography | 069 博物館 Museums |
| 021 著作. 編集 Authorship and editorial techniques | 070 ジャーナリズム. 新聞 Journalism. Newspapers |
| 022 写本. 刊本. 造本 Manuscripts and printed books | 080 叢書. 全集. 選集 General collections |
| 023 出版 Publishing | 081 日本語 Japanese |
| 024 図書の販売 Bookselling | 082 中国語 Chinese |
| 025 一般書誌. 全国書誌 General and national bibliographies | 090 貴重書. 郷土資料. その他の特別コレクション
Rare books. Local collections. Special collections |
| 026 稀書目録. 善本目録 Bibliographies of rare books | |
| 027 特種目録 Special bibliographies | |
| 028 選定図書目録. 参考図書目録
Catalogs of selected books .
Catalogs of reference books | 3.1.1 分類項目名と英文項目名の不对応
総記において、分類項目名と英文項目名が一位対応をしていない場合が散見される。具体例を示す。 |
| 029 蔵書目録. 総合目録 Library catalogs. Union catalogs | 012 図書館建築. 図書館設備 Library buildings |
| 030 百科事典 General encyclopedias | |
| 031 日本語 Japanese | |
| 032 中国語 Chinese | |
| 033 英語 English | |
| 034 ドイツ語 German | |
| 035 フランス語 French | |
| 036 スペイン語 Spanish | |
| 037 イタリア語 Italian | |
| 038 ロシア語 Russian | |
| 039 用語索引 General concordances | |
| 040 一般論文集. 一般講演集 General collected essays | |
| 041 日本語 Japanese | |
| 049 雑著 General miscellanies | |
| 050 逐次刊行物 General serial publications | |
| 051 日本語 Japanese serial publications | |
| 059 一般年鑑 General yearbooks | |
| 060 団体：学会, 協会, 会議 General societies | |
| 061 学術・研究機関 Academies | |
| 063 文化交流機関 Cultural exchange | |

分類項目名には、図書館建築、図書館設備の2つの語彙を記している。一方、英文項目名では Library buildings の語彙が一つである。意味の対応関係では、図書館設備に対応する英文項目名を提示していない。Facilities of Libraries であろうか。

なお、図書館建築、図書館設備は共に、図書館+建築、図書館+設備という複合語である。

015 図書館サービス. 図書館活動 Library activities

同様に、図書館サービスに対応する英文項目名がない。Library services であろうか。

なお、図書館サービス、図書館活動は共に、図書館+サービス、図書館+活動という複合語である。

016 各種の図書館 Specific kinds of institutions

この英文では、「特定の機関の種類」といった意味となる。しかし、「016 各種の図書館」の下位区分には、「016.1 国立図書館」、「016.2 公共図書館」等の設置母体別の図書館種が並んでいる。

ただし、「017 学校図書館」、「018 専門図書館」は、要目表では右インデントで示されているように、記号法に関わらず、「016 各種の図書館」の下位区分である。

3.1.2 連辞による複合語

連辞による複合語に関して、分類項目名と英文項目名との間に相違がある。具体例を示す。

011 図書館政策・図書館行財政 Library policy and administration

図書館政策は、Library policy であろう。しかし、Library policy and administration は、図書館政策、図書館行政に対応する。

一方、図書館行財政は、図書館行政、図書館財政の連辞である。英文項目名には、図書館財政に対応する Library finance が欠けている。

013 図書館経営・管理 Library management

図書館経営・管理は、図書館経営、図書館管理であり、一般に図書館経営・管理という中点が使用される形である。英文項目名に、Library administration を追加することが望ましい。

3.1.3 分類項目名の英文項目名への意識

分類項目名の大幅な意識も存在している。例を示す。

014 情報資源の収集・組織化・保存
Technical process in libraries

過去に、図書館資料の収集・整理・保存について Technical process の訳語として、「整理技術」の語彙が使用された時期があった。

しかし、現在の「情報資源の収集・組織化・保存」に対する英文項目としてそのままが適切であろうか。

3.1.4 「館種」という2種類の意味

一般には図書館の「館種」という言葉は、図書館の種別を表すと理解される。これは、〈016/018〉の第6注記に、次の指示があることから理解できる。

*対象となる館種をより特定するところに収める 例：016.281 国立国会図書館国際子ども図書館、018.49 米国国立医学図書館

ここで、016.281 国立国会図書館国際子ども図書館は、次のナンバービルディングにより構築している。

016.281 児童図書館 + -1
地理区分 日本

逆に、次のナンバービルディングを採用していない。016.11。

016.11 016.1 + -1
国立図書館 地理区分 日本

同様のことは、018.49 米国国立医学図書館でも確認できる。

018 + 49 = 018.49
専門図書館 網目表の医学

これは「018 専門図書館」の第1注記の次の指示による。

*網目表に準じて細分 例：018.37 教育図書館、018.49 医学図書館、018.74 印刷図書館

以上を総合して勘案すれば、「館種」という言葉で示している図書館の種別とは、設置母体による区分でなく、その図書館がもつ「主題」を優先する意味である。

なお、ここで「016.28 児童図書館」の「児童」は主題でなく、サービス対象ではないかという疑問がわくが、児童図書館の機能が児童へのサービスと共に児童書や児童サービスの研究資料等の提供にも及ぶことを考えると、了解できよう。

3.1.5 「022 写本、刊本、造本 Manuscripts and printed books」

細目表に「022 写本. 刊本. 造本 Manuscripts and printed books」がある。

しかし、写本= Manuscripts、刊本= Printed books であるが、造本に対応する英文表現がない。語彙、造本は次の2つの意味を持つ。

製本. 装丁 book binding
編集 bookmaking

以上を総合すると次の修正が適切ではないか。

「022 写本. 刊本. 造本 Manuscripts. Printed books. Book binding. Bookmaking」

3.1.6 関連索引における「百科事典 030」

関連索引では百科事典は、「百科事典 030」とある。本表の「030 百科事典 General encyclopedias」へ導けば、おのずと「031/038 各言語の百科事典」が判明するということであろう。

しかし、これではDX(デジタルエックステンジ)に対応できない⁹。例えば、「031 百科事典-日本語」、「General encyclopedias- Japanese」等の展開が望まれる。

3.1.7 分類項目名に現れない関連索引語彙

分類項目名に現れない関連索引語彙が、関連索引に収録されている。例えば、「図書館学 010」である。意図的に、旧NDCの分類項目名を残しているのであろうか。同様のことは、関連索引では「白ロシア語」が存在するが、細目表では「ウクライナ語、ベラルーシ語」である。¹⁰

3.2 1類 哲学(哲学, 心理学, 倫理学, 宗教)

1類は、哲学(哲学, 心理学, 倫理学, 宗教)である。順に1類の類・綱・目の分類項目の英文項目名を検討する。以下は、細目表の1類から、英文項目名が付されている項目を抜き出したものである。ただし、インデクション等は再現していない。

100 哲学 Philosophy
101 哲学理論 Theory of philosophy
102 哲学史 General history of philosophy
103 参考図書[レファレンスブック] Reference books

104 論文集. 評論集. 講演集 Essays and lectures
105 逐次刊行物 Serial publications
106 団体:学会. 協会. 会議 Organizations
107 研究法. 指導法. 哲学教育 Study and teaching
108 叢書. 全集. 選集 Collected works. Collections
110 哲学各論 Special treatises on philosophy
111 形而上学. 存在論 Metaphysics. Ontology
112 自然哲学. 宇宙論 Philosophy of nature. Cosmology
113 人生観. 世界観 View of life. World view
114 人間学 Philosophic anthropology
115 認識論 Epistemology
116 論理学. 弁証法. 方法論 Logics. Dialectics. Methodology
117 価値哲学 Philosophy of value
118 文化哲学. 技術哲学 Philosophy of culture and technics
[119] 芸術哲学. 美学
120 東洋思想 Oriental thought
121 日本思想 Japanese thought
122 中国思想. 中国哲学 Chinese thought
123 経書 Chinese classics
124 先秦思想. 諸子百家 Sage of Pre-Chin
125 中世思想. 近代思想 Medieval and modern thought
126 インド哲学. バラモン教 Indian philosophy. Brahmanism
129 その他の東洋思想. アジア哲学 Other Oriental thought
130 西洋哲学 Western philosophy
131 古代哲学 Ancient philosophy
132 中世哲学 Medieval philosophy
133 近代哲学 Modern philosophy
134 ドイツ・オーストリア哲学 German and Austrian philosophy
135 フランス・オランダ哲学

	French and Dutch philosophy		Jainism
136	スペイン・ポルトガル哲学 Spanish and Portuguese philosophy	169	その他の宗教. 新興宗教 Other religions
137	イタリア哲学 Italian philosophy	170	神道 Shinto
138	ロシア哲学 Russian philosophy	171	神道思想. 神道説 Shinto theology
139	その他の哲学 Other philosophy	172	神祇・神道史 History and conditions of Shinto
140	心理学 Psychology	173	神典 Shinto sacred classics
141	普通心理学. 心理各論 General psychology	174	信仰録. 説教集 Priestly memoirs. Sermons
143	発達心理学 Developmental psychology	175	神社. 神職 Shrines. Shinto priests
145	異常心理学 Abnormal psychology	176	祭祀 Shinto festivals
146	臨床心理学. 精神分析学 Clinical psychology. Psychoanalysis	177	布教. 伝道 Shinto missions
147	超心理学. 心霊研究 Parapsychology	178	各教派. 教派神道 Sectarian Shinto
148	相法. 易占 Divination	180	仏教 Buddhism
[149]	応用心理学 Applied psychology	181	仏教教理. 仏教哲学 Buddhist doctrines
150	倫理学. 道徳 Ethics. Morals	182	仏教史 History and conditions of Buddhism
151	倫理各論 Systems and doctrines	183	経典 Buddhist scriptures
152	家庭倫理. 性倫理 Family and sexual ethics	184	法話・説教集 Sermons. Preaching
153	職業倫理 Professional and occupational ethics	185	寺院. 僧職 Temples. Buddhist priests
154	社会倫理[社会道徳] Social ethics	186	仏会 Buddhist services and customs
155	国体論. 詔勅 National polity	187	布教. 伝道 Buddhist missions
156	武士道 Bushido	188	各宗 Buddhist sects
157	報徳教. 石門心学 Hotokukyo. Shingaku	190	キリスト教 Christianity
158	その他の特定主題 Other ethical topics	191	教義. キリスト教神学 Christian theology
159	人生訓. 教訓 Practical ethics	192	キリスト教史. 迫害史 History and conditions of Christianity
160	宗教 Religion	193	聖書 Bible
161	宗教学. 宗教思想 Science of Religion	194	信仰録. 説教集 Priestly memoirs. Sermons
162	宗教史・事情 History and conditions of religions	195	教会. 聖職 Christian church. Holly orders
163	原始宗教. 宗教民族学 Primitive Religions	196	典礼. 祭式. 礼拝 Ritual and liturgy
164	神話. 神話学 Myths. Mythology	197	布教. 伝道 Missions
165	比較宗教 Comparative religion	198	各教派. 教会史 Denominations of Christian churches
166	道教 Taoism	199	ユダヤ教 Judaism
167	イスラム Islam		
168	ヒンズー教. ジャイナ教 Hinduism.		

なお、1類は、哲学、心理学、倫理学、宗教と守備範囲が広いので、この区分の単位で検討する。

3.2.0 「100 哲学総記 Philosophy」

「101 哲学理論 Theory of philosophy」から、「108 叢書. 全集. 選集 Collected works. Collection」までは、哲学総記の形式区分である。

外形式的には、不要な展開である。ただし例えば、「102 哲学史」を将来の改訂において展開するのであれば、その時点での「露出」でよい。

「101 哲学理論 Theory of philosophy」から、「108 叢書. 全集. 選集 Collected works. Collection」までは、哲学総記の形式区分を明示しているのは、心理学以下の項目は、歴史的な発展過程で、哲学の「下位」と形式上の認識をすれば、体系の理解が補える。

3.2.1 哲学

「118 文化哲学. 技術哲学 Philosophy of culture and technics」であるが、関連索引への機械的な切り出しを考慮すると、「Philosophy of culture. Philosophy of technics」が適切であろう。

なお、「10 哲学」は、次の構造を持っている。
(文字強調は、筆者)

- 100 哲学
 - 110 哲学各論
 - 120 東洋思想
 - 121 日本思想
 - 122 中国思想. 中国哲学
 - 123 経書
 - 124 先秦思想. 諸子百家
 - 125 中世思想. 近代思想
 - 126 インド哲学. バラモン教
 - 130 西洋哲学
- (以下、略)

英文項目名では、「思想 thought」、「哲学 philosophy」を与えている。しかし、思想と哲学の使い分けは明確ではない。また、「122 中国思想. 中国哲学 Chinese thought」では、中国哲学に対応する英文項目がない。

また、120 東洋思想以降の全体は、概ね地域、地理的な背景を持っているが、例えばイスラム哲学のように必ずしも地理的背景に限定されない哲

学はどのように扱うのであろうか。

「125 中世思想. 近代思想」は、「122 中国思想. 中国哲学」の下位区分として位置付けて、始めて意味を持つ。同様のことは、「131 古代哲学」、「132 中世哲学」、「133 近代哲学」にもある。

いずれにせよ、分類項目名、英文項目名共に機械的な関連索引語の切り出しになじまない。

3.2.2 心理学

「147 超心理学. 心霊研究 Parapsychology」は、英文項目名に Phychic study の追加が必要であろう。

なお、「147 超心理学. 心霊研究」、「148 相法. 易占」は、要目表では心理学の下記区分としているが、疑問が残る。

3.2.3 倫理学

「家庭倫理 Family and sexual ethics」、「職業倫理 Professional and occupational ethics」の英文項目名は、分割表記を採用すべきであろう。

なお、「155 国体論. 詔勅」は、「150 倫理学. 道徳」の下位区分であろうか。

3.2.4 宗教

「170 神道 Shinto」、「180 仏教 Buddhism」、「190 キリスト教 Christianity」と3つの宗教については、第二区分である綱段階の記号を与えている。

一方、これ以外の宗教については、「<166/199> 各宗教」として、「166 道教 Taoism」、「167 イスラム Islam」、「168 ヒンズー教. ジャイナ教 Hinduism. Jainism」を与え、「169 その他の宗教. 新興宗教 Other religions」(発祥国による地理区分)としている。

ただし、「199 ユダヤ教 Judaism」がある。また、「168 ヒンズー教. ジャイナ教 Hinduism. Jainism」の第3注記により、「バラモン教→126」である。

また、「168.9 ゴロアスター教[祓教]. マニ教. ミトラ教」があるが、英文項目名はない。

さらに、「163 原始宗教. 宗教民族学 Primitive religions」があるが、英文項目名は原始宗教に対応したものであり、宗教民族学に対する英文項目名は欠落している。

なお、「163 原始宗教. 宗教民族学 Primitive religions」の下位区分の事項は、宗教民族学の研究対象ではあるが、宗教民族学そのものではない。

また、「387 民間信仰. 迷信[俗信] Popular beliefs」では、英文項目名は、民間信仰に対するものである。なお、「く. 3/. 7 民間信仰」があるが、内容的には、日本における民間信仰である。

一方、「1. 9 迷信[俗信]」では、「*地理区分」が注記されており、地理的対象は、日本に限定されない。

このように宗教については、類をまたいで複雑に主題が分散している。例えば、「280 伝記 General biography」や「289 個人伝記 Individual biography」のような詳しい注記を望んでおきたい。

4. さいごに

本稿では、相関索引中の「英文項目名等」の中の「類・綱・目の分類項目」について、0類～1類を題材に検討を進めた。

「NDC10」には、「分類項目名」、「英文項目名等」について、項目名辞の形の適切性など、検討を進める余地があるのではないか。

これらは、いずれも手作業での改訂作業の時代の姿を引きずっているように思われる。

本稿を終えるにあたって『NDC10』刊行へと長年のご苦勞を積み重ねられた歴代の分類委員会委員の方々に感謝の意を捧げたい。

歴代の委員長、委員の方々については「本表・補助表編」の冒頭の分類委員会報告」に記されている。

引用文献

1 もり・きよし原編, 日本図書館協会分類委員会改訂『日本十進分類法新訂 10 版』日本図書館協会, 2014.

2 那須雅熙「『日本十進分類法(NDC)新訂 10 版』の刊行によせて」『図書館雑誌』109(2), 2015.2, p.96.

3 「2.7 関連索引」－「2.7.1 構成と意義」
『日本十進分類法 新訂 10 版 1 本表・補助表編』p.25.

なお、「3.4 関連索引の整備」(p.29)では、「索引登録件数(レコード数)は、9 版の約 29,500 件に対し、約 33,400 件となった。」、としている。

4 『日本十進分類法 新訂 10 版 2 関連索引・使用法編』p.301. 「関連索引」。

5 『日本十進分類法 新訂 10 版 2 関連索引・使用法編』、p.9. 「3.2 配列」

6 同上、p.9. 「3.1 ヨミ」

なお、文中の「また、アラビア数字およびアルファベットはそのままヨミとする。」の記述は、「また、アルファベットおよびアラビア数字はそのまま

ヨミとする。」という記述が適切である。細かいことであるが。

7 索引語数のカウントは、例えば次のような場合は、全体で 1 とした。

例) IOC(国際法)	329.38
(スポーツ)	780.69

8 「1.4 英文項目名等」
『日本十進分類法 新訂 10 版 1 本表・補助表編』p.65-66.

なお、「英文項目名等」と「等」を付記しているのは、例えば動・植物の科目名は、学名(ラテン語)によるからである。

9 これではまるで、コロナ禍を巡るアナログ処理とデジタル処理 2 の行政作業の「悲喜劇」の縮図である。

10 なお、BSH、NDLSH からの語彙の関連索引への収録については、明示はない。

[2020 年 9 月 10 日 受理]